

## 別紙

### 温室効果ガス削減計画

#### 1 事業の概要

- (1) 事業所の名称  
山陽乳業株式会社
- (2) 事業所の所在地  
広島県三原市南方一丁目2番1号
- (3) 業種  
細分番号 0913 処理牛乳・乳飲料製造業
- (4) 事業所位置図  
別紙のとおり

#### 2 計画の期間

本計画の期間は平成25(2013)年度を基準年度とし、平成27(2015)年度から平成29(2017)年度までの3年間とする。

#### 3 計画の基本的な方向

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>1. 基本的な考え方<br/>当社は地球環境保全を経営の行動基準とし、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献します。<br/>特に、今日の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については省エネルギー活動を推進し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。</li><li>2. 方針<ul style="list-style-type: none"><li>① 省エネルギーの推進</li><li>② 省エネルギー機器の導入促進</li><li>③ 廃棄物の排出抑制・リサイクルの促進</li><li>④ 社員への環境教育の徹底</li></ul></li></ul> |
|---|

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成25年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素		7,537	7,044

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF <sub>6</sub>			

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)	
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>						
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>						
メタン						
一酸化二窒素						
フロン類						
温室効果ガス 実排出量総計						
温室効果ガス みなし排出量						
目標設定の考え方						

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産数量 (t)

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 25 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 29 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	7,537	55,222	0.136	2.94	7,240	55,000	0.132
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	7,537	55,222	0.136	2.94	7,240	55,000	0.132
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)			0.04797	0.146			0.04625
目標設定の考え方	エネルギー起源CO <sub>2</sub> は原単位ベース年1%の削減率を目標とする。						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	ボイラー重油使用量10%削減	①高効率ボイラーの導入 ②台数制御装置による効率改善
2	電気使用量削減	電気使用量3%削減	①照明器具のLED化 ②生産ライン稼働率の改善により電気使用量の削減を図る。 ③冷凍機を省エネタイプに変更する。

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		

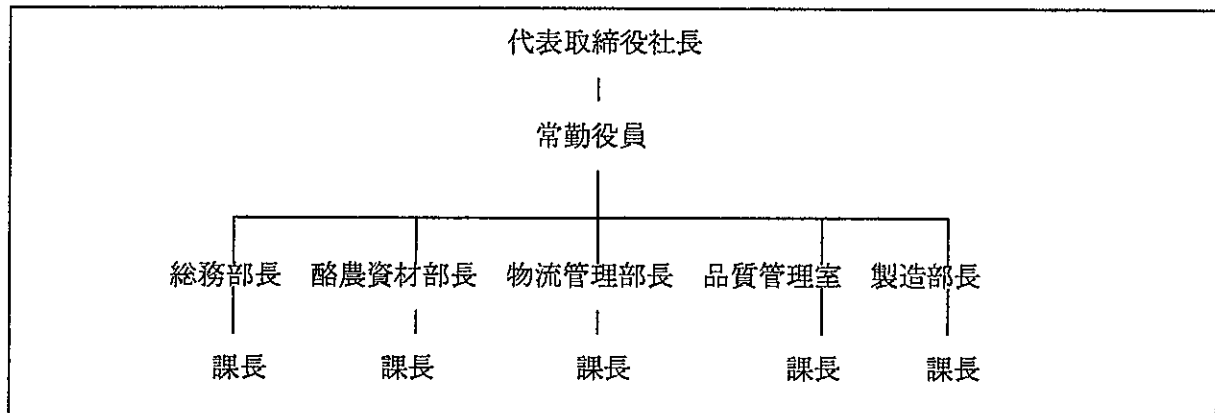
### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量	電気使用量1%削減	夏季、冬季の事務所空調機器温度管理強化
2			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

製造部工務課を中心として毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、省エネ委員会において評価・見直しを行い、継続的な向上を図る。

### (3) 計画書等の公表

環境報告書において、計画内容及び進捗状況を掲載する。